



第 101 号(平成 30 年1月 25 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日~1月 14 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	5			1	8	9	4
平成 29 年	7	2		4	1	7	
前年同期比	-2	-2	0	-3	7	2	4
内)BC	-1		0	-2	3	1	4

山域別発生状況

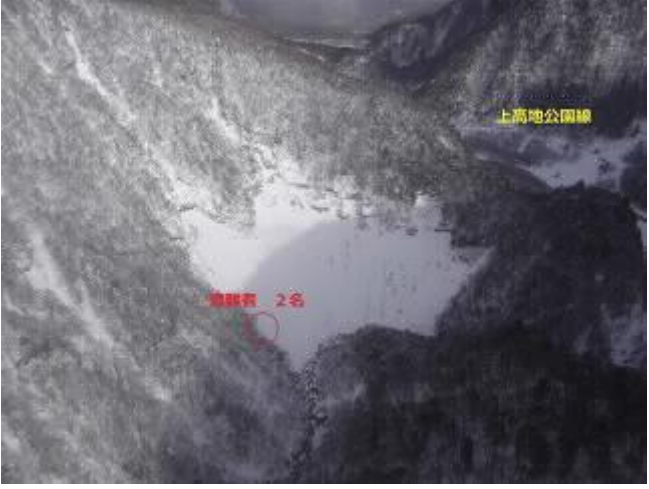
区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0					0
	後立山	1	20.0%			3	3
	その他	1	20.0%			2	2
	計	2	40.0%	0	0	0	5
中央アルプス		0.0%					0
南アルプス		0.0%					0
八ヶ岳連峰	1	20.0%				2	2
その他の山岳	2	40.0%			1	1	2
計	5		0	0	1	8	9

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	1	20.0%			1		1
転倒		0					0
病気		0					0
道迷い	3	60.0%				6	6
落石		0					0
雪崩		0					0
落雷		0					0
疲労凍死傷	1	20.0%				2	2
不明・他		0					0
計	5		0	0	1	8	9

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下					0	0人 0.0%				3	3	4人 80.0%	3	4人 44.4%
20代					0						0		0	
30代					0					1	1		1	
40代					0	1人 25.0%					0	0人 0.0%	0	1人 11.1%
50代				1	1						0		1	
60代			1	2	3	3人 75.0%				1	1	1人 20.0%	4	4人 44.4%
70以上					0						0		0	
計	0	0	1	3	4		0	0	0	5	5		9	
比率	44.4%						55.6%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
1月1日	八ヶ岳連峰 横岳	67	男	疲労	無事救出	石尊稜を登攀中、 疲労のため行動が遅れたことから、 仲間が救助要請したもの。
		68	女	疲労	無事救出	
<p>1日、八ヶ岳連峰石尊稜周辺で、男性Aさん67歳と女性Bさん68歳が行動不能となる山岳遭難が発生し、2日、茅野署員及び諏訪地区遭対協隊員が2名を発見して、付近の山小屋に収容しました。</p>						
1月4日	北アルプス 焼岳	57	男	道迷い	無事救出	焼岳から中の湯に向けて下山中、 道に迷い行動不能となったもの。
		36	女	道迷い	無事救出	
<p>4日、北アルプス焼岳下堀沢付近で、男性Aさん57歳と女性Bさん36歳が道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。</p>		<p>焼岳における遭難現場の状況</p> 				
1月7日	飯田市内 松川右岸 の山中	61	男	滑落	負傷	山中を散策中、何らかの原因により 滑落し負傷したもの。
1月8日	白馬村内 スキー場 付近の山中	17	女	道迷い	無事救出	スキー場から付近の山中をスノーボ ードで滑走中、道に迷ったもの。
		17	女	道迷い	無事救出	
		16	女	道迷い	無事救出	
<p>8日、北安曇郡白馬村神城のスキー場で、ロシア人女性3人がスノーボードでエリア外を滑走中に道に迷う遭難が発生し、その後、自力下山したところを捜索中の警察官が発見し、無事を確認しました。</p>						
1月13日	横手山	63	男	道迷い	無事救出	横手山スキー場のエリア外を滑走中 に道に迷い行動不能

13日、志賀高原横手山スキー場で、道に迷い遭難した男性 A さん 63 歳については、14 日、県警へりにより発見・救助しました。

遭難現場の状況



山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

1 月 1 週は 4 件の遭難が発生し、そのうち道迷いの遭難が 2 件発生しています。1 月 2 週はスキー場のエリア外での遭難が 1 件発生しました。

冬山は積雪により登山道や標識が埋もれている場合が多く、また吹雪により視界が失われたりするため、無雪期の山よりも道迷いのリスクが高くなります。特に山中を滑るバックカントリースキー、スノーボードは滑走に夢中になるあまり、登り返しの分岐点を見過ごしたり、コースとなる尾根や沢を入り間違えたりして道迷いとなるケースが多く見受けられます。入山前に仲間全員でコース全体の地形や方角等を把握し、行動中はこまめに現在地を確認するようにしてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝